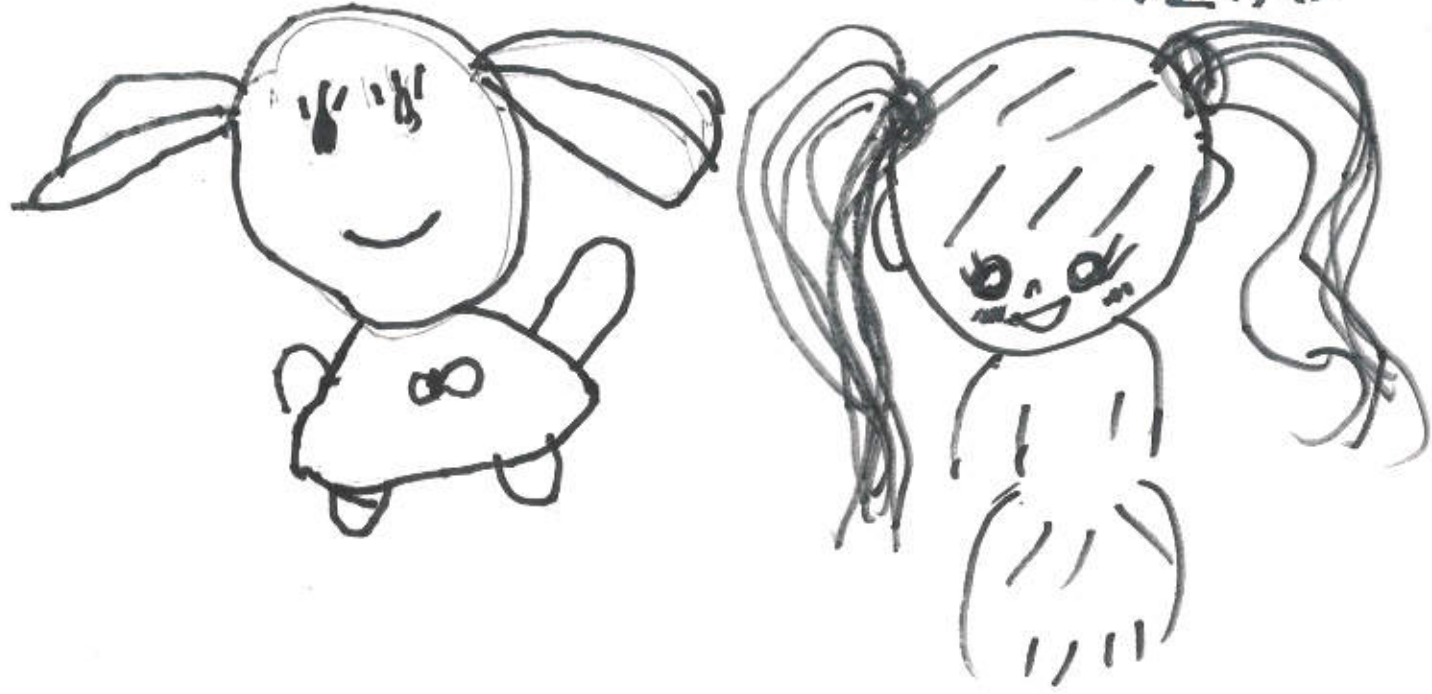


庄内こどもの村幼稚園

劇あそび会 社のお手伝い隊 ⑧

2/2(火)



〈道具・衣装グループ〉

今回は、リハーサルについての話。注意点等の確認をしまして。前回決めたポジションの確認。役割分担を。ふいでい。舞台のしほ(舞台袖)でしっかり劇を見て道具を出さ!とお手伝いをするクラスとして道具出しもとても大切な役割で劇の一部でもあると子ども達も理解して話して来ました。前回の「みんなの劇をより良くするために」という話はしっかりと頭に入っているようで、本番に向けて意識も更に高まっています!次に、学年別のクラスの大道具・小道具作りのお手伝い。まずは何を作ればいいのか、各クラスに開きに行きました。どのようにならなければならないのか、詳しい注文もしっかりと聞き、早速、作業開始!まず「必要なものを調達しに行きました。さすが年長!」と「何があれど作ればいいのか、どう作ればいいのか、自分たちで考えたりと行きます。ひよこ組担当は見本を元に大きな画用紙でバス作り。「ひよこ組の子が隠れる大きさ」という注文があったのでサイズを考えながら、画用紙を見合わせて描いていきます。でも大きく描くのは難しくバランスがとれません。たまたまかき描きや消しゴムで描き直したり、消しゴムを繰り返し使ったりして描いてきました。ひよこ組の子どもに合わせて大きさをチェック。担任の先生にもアドバイスをもらいました。りす組担当はめがね作り。「スライム・倉庫の参考材料を使い、自由に作って欲しい」とのことでした。りす組10人分、取り合いにならないように、色・形状を統一するというまで考え参考材料を使い、作り出しました。うさぎ組担当は劇中に出てくるハチ作り。注文されたものがすべてイメージ出来たようで黄色、黒のスズランテープを土台に巻き、画用紙で羽作り。黙々と作っていました。それぞれ出来たものを渡りに行く、「上手にできてる!」「ありがとう!」と褒められ、照れながらもとても嬉しそうでした!ぜひ、劇あそび会では大道具・小道具にも注目して下さい。



司会・掃除・飾り付けグループ

今回はリハーサル前最後の活動だったので、「リハーサルの時の司会の方法を子どもたちと考えました。今まで各行事で司会を経験していることもあり何を言うか、しかりと理解し練習をしていました。そしてもう一つはオープニングを考えました。「今から劇あそび会が始めます」この言葉を保護者の皆さんに伝える為、全てのクラスの劇あそびを最初からすべて見せよう。このオープニングは、とても重要だと子どもたちは思っています。しかりと見せよう為には、合図が必要ということ。合図になりそうな物を考えました。子どもたちは迷うことなく「楽器がいい!」「楽器倉庫見に行こう!」と探しに行きました。その中でも目に入ったのは、ハンドベル。部屋に戻り、ハンドベルを鳴らしてみると、とてもきれいな音で「ハンドベルにしよう!」とすぐに意見がまとまりました。ハンドベルの鳴らし方も子どもたちなりに考え、「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シドが終わったら反対からもう一回やる」「最後はみんなで鳴らしたらきれい!」など、こだわりを見せていました。子どもたちが考えた、こだわりのオープニングをぜひ楽しみにして下さい!



くじ・注意・誘導・掲示グループ

今回は、誘導について話し合いをし、実際にホールで練習をしました。はじめに「誘導とは何か?」を全員で確認しました。「席がわからない人を連れていく」「困っている人へ教える」等、子どもたちの中で、「困っている(わからない)人に教える」ということを再確認することが出来ました。練習では、誘導役とお客さん役の二手に分かれて行うことになりました。まずはじめに、舞台上に立ち、注意を言う練習をしました。自分たちでどの部分で言うのか、順番を決め、いざ舞台上!はじめは恥ずかしく照れていた子どもたちでしたが、練習を重ねていくうちに大きな声に、自分が言うところを思い出せずにいると、周りの子どもたちがフォローし合う姿も見られました。次は誘導の練習をしました。「1番の席がわからないです」とお客さん役が伝えると、「こちらです」と手を引いて連れていったり、「トイレはどこですか?」と聞かれるとその場所案内したりと自分なりに誘導をしていました。席案内が終わると「静かに見て下さい」と注意を伝える子どもの姿も見られました(笑)誘導という動きのイメージを掴むことで、自信を持つことが出来た子どもにリハーサル時には、練習時の姿を発揮してくれたいと思います。

